

令和元年年11月26日

保護者の皆様

吹田市立南山田小学校
校長 江下 毅

学校教育アンケートの結果について

「学校教育アンケート」にご協力いただき誠にありがとうございました。

今回、各家庭にアンケート調査をお願いし1083通の回答(回収率は93.4%)をいただきました。集計結果については別紙のグラフの通りです。結果をもとに学校の教育活動を検証し、今後の取組に活かして参ります。

— 集計結果をご覧頂くにあたって —

【1. 保護者アンケートから】

長年本校の課題としてあげられる項目「学校の設備・学習環境」について

*「思わない」との回答(42.5%)

大規模改修・体育館改修そして今年度はトイレ改修が終了しました。また、地震の影響によるブロック塀の改修も順次行われてるように聞いております。特に今年度のトイレの改修は今までの学校のトイレのイメージを一新できる改修となり、子どもたちからも喜びの声が届いています。今後も継続した施設の美化に取組み、児童が安心して学校生活を送ることができる学習環境の整備に努めてまいります。

「いじめのない学級作りに取り組んでいる」

*「わからない」との回答(26.4%) 「思わない」(7.1%)

昨年度の結果より少し改善はみられているものの、今年度も課題となりました。教職員全員が「いじめを絶対に許さない」の認識の下、自分の命の大切さとともに他者もかけがえのない存在であることを理解し、日々の生活の中で実践できる児童の育成を目指していきます。また、具体的な学校の思いや取組みを発信し、家庭や地域の皆さんと一緒に考えていけるよう工夫をして参ります。

「学校は、学校行事に熱心に取り組んでいる」

*肯定的回答(95.9%)

「授業参観などの公開する機会が適切である」

*肯定的回答(94.8%)

学校全体の行事予定が昨年度と大きく変わる中、保護者の皆様には、吹田一の児童数に対応した行事の工夫や運営について、ご理解、ご協力をいただき、本当にありがとうございます。また、今年度は音楽会の急な日程変更にも対応いただき、感謝しております。行事において、PTA役員、委員の皆様をはじめ多くの方々と連携して行事を創りあげていくことの大切さを改めて感じております。

今後も、学校での行事が子どもたちの活躍と満足感につながるものになるよう、行事そのものを多面的に検討・改善を行いながら、有意義な取組をしてまいります。

「地震や台風、不審者侵入対応について行動マニュアルを示している」

*肯定的回答(91.4%)

昨年度より実際に事案が生じたことを想定して「引き取り訓練」を実施しました。2年目となり、有事の際の対応を保護者の皆様と確認することができました。しかし、昨今の自然災害が多く発生する中、有事の際の大規模校での児童の安全確

保や引き取り等については、まだまだ課題があると考え、皆さまのご意見も参考に更に安全面に考慮して改善して参ります。

【2. 児童のアンケートから】昨年度との比較：低い↓高い↑同じ＝ 番号：順位

「学校へ行くのが楽しい」

*肯定的な回答(低87.7%↓中82.1%↓高81.3%↓)

*否定的な回答(低4.3%↓中11.4%↑高7.1%↓)

私たちにとって、すべての児童が「学校が楽しい」と思う学校づくりを目指し日々取り組んでいます。今回の調査でも「思わない」と感じている子ども達があります。「楽しいと感じられない」理由や「わからない」理由を受けとめ、学校に行くと話ができる友だちがいる、授業が面白いなど「ああ、学校にきてよかった」と思え、明日学校に足を運ぶことが楽しみとなるように、児童の思いに寄り添い、一人ひとりに応じた指導・支援を進めて参ります。

《低学年の特徴》

「先生は色々な工夫をして教えてくれて授業がわかりやすい」

(89.8%)

「地震、火災、不審な人への対応を教えてもらっている」

(88.8%)

「先生はわたしの話を聞いてくれる」

(82.9%)

《中学年の特徴》

「授業では実験観察したりする」

(89.9%)

「地震、火災、不審な人への対応を教えてもらっている」

(89.9%)

「先生はわたしの話を聞いてくれる」

(87.1%)

《高学年の特徴》

「地震、火災、不審な人への対応を教えてもらっている」

(88.4%)

「自分を大切にし、他人への思いやりを学ぶことがある」

(83.1%)

「命の大切さや社会のルールについて学ぶことがある」

(81.3%)

どの学年にも「地震、火災、不審な人への対応を教えてもらっている」の肯定的な回答が高かったことは学校における安全に対する意識を指導に生かすことができていると感じています。一方「先生はいじめなど困っていることに対応してくれる」は(低79.1%、中70%、高61.7%)の肯定的な回答で、高学年になるに従い下がってきています。保護者アンケートにある「わからないことについて質問しやすく、気軽に相談できる先生と子供との関係づくり」については、子ども達が楽しい学校生活を送るにあたり重要な視点と捉え、さらに「子ども理解」に努めてまいります。

【3. まとめにかえて】

来年度より新学習指導要領での教育が始まります。『何を教えるか』という知識の質や量だけでなく、『どのように学ぶか』という学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて、主体的・協働的に学ぶ学習がこれからの子ども達に必要であると示されています。それに伴い、学校での学習・指導方法も大きく変わるため、これからの指導方法の充実に取り組んでまいります。

これからの子ども達の「生きる力」を育てるために、様々な取組を通して織りなす子ども達の姿を発信し、保護者の皆さまからいただいたご意見を真摯に受けとめ、学校と家庭がコミュニケーションを図りながら、今後も「質の高い公教育の創造」に努めてまいりたいと考えております。なお、学校における子どもたちの活動の様子をできるだけ感じていただけるよう、本校のホームページ上に「新みどりの虹(南山田小学校のウェブログ)」も更新に努めています。ご家庭での学校の話をする際の話題として頂けたらと思います。

